

1 ターン  
田中善通さん  
.....  
会社員

## たった1時間の通勤時間 充実した暮らしの方が魅力的

千葉県出身の田中善通さんは高校生の時にサーフィンに魅せられて以来、就職後もサーフィン漬けの生活を送っていました。大学卒業後は、東京都にある商社で3年間勤務。途中、父親が編集者だったことも影響し、サーフィン雑誌を発行する会社へ転職します。2年後にはフリーランスに向。日本全国や世界各地で取材をする中で、御前崎の海に出会い、魅了されます。その後は頻繁に御前崎へ通うようになり、ついには移住を決意しました。

「野菜を分けてくれる近所の人や家のリフォームで困っていると重機を運んできて手伝ってくれる人がいるなど、都会にはない人の温かさがこのまちにはありました」

田中さんは現在、浜松市内の製薬会社に勤務しています。通勤時間は車で約1時間ですが苦にならないといいます。「東京で働いていた頃は満員電車で通勤していました。今の方がよっぽど快適です。電車がなくても不便は感じません。何より都会にはない充実した暮らしができます。都会の暮らしよりやりたいことを思う存分できる環境の方が魅力ですよ」と御前崎での暮らしを推奨します。



1 ターン  
金井泰士さん  
.....  
地域おこし協力隊

## パソコンとネットがあれば 自宅で仕事ができる職種もある

金井泰士さんは静岡市出身。大学卒業後は、東京都のグラフィックデザインの仕事に入社しました。しかし、ある時、周囲を見渡すとバリバリ働いている人のほとんどは、時間に関係なく仕事をしており、同じように仕事をしていれば、体を壊すのではないかと不安を抱いたといいます。もともと「いつかは起業をしたい」と考えていた金井さんは、今年1月にフリーランスへ転向。本業の傍ら、10月からは本市初の地域おこし協力隊としても活動し、ウェブを活用して効果的にイベントなどの情報を全国に届けています。

「インターネット環境とパソコンがあれば、成り立つ仕事が増えています。会社に出勤しなくても自宅で仕事ができるなど仕事の仕方も多様化してきています。取引先から企画書や設計図をメールで送ってもらったり、Skypeを使ったネット会議で構成を固めたりすることもできます。移動時間や労力の軽減にもなり便利です」と話します。

今後ますます多様化するだろう若者の働き方を踏まえ、「御前崎は新しいことを始めるにはもってこいの場所。首都圏と比べると競争が少ないため多くの分野でパイオニアになれると思います」と若者たちへアドバイスします。

